実は身近な発達障害

DCD(発達性協調運動症)ってなんだろう?

~"不器用"の問題とその支援~



DCD(発達性協調運動症)は、走る、跳ぶ、ボールを蹴る、姿勢を保つなどの運動や、字を書く、箸を使う、ハサミを使うなどの作業に必要な協調運動が困難な発達障害(神経発達症)です。DCDがある人たちは、一生懸命頑張っているのに「不器用なだけ」「努力が足りない」「やる気がない」と言われてつらい思いをしているかもしれません。DCDについて正しく知って、日常の中でどういった支援や工夫ができるといいのか、一緒に考えていきましょう。

日 時

令和8年 2月14日(土)

午後1時から4時(受付は午後0時30分から)

場 所

ウインクあいち (愛知県産業労働センター) 大ホール

♥名古屋市中村区名駅4丁目4番38号

講師

岩永 竜一郎 さん

長崎大学生命医科学域(保健学系)教授

宮地 泰士 さん

名古屋市西部地域療育センター所長

司会

渡邊 晶子さん

フリーアナウンサー

定員

600名

応募者多数の場合は抽選 結果は1月下旬に通知予定





※会場へは公共交通機関をご利用ください

参加 無料 手話通訳 要約筆記 あり

申込方法は裏面へ (1/6(火)締切)

主催:名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋、NHK名古屋放送局、NHK厚生文化事業団 後援:名古屋市教育委員会、JDDネット愛知(NPO法人愛知県自閉症協会・つぼみの会、あいちLD親の会かたつむり、 NPO法人アスペ・エルデの会)、社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会、中日新聞社、社会福祉法人中日新聞社会事業団

実は身近な DCD(発達性協調運動症)ってなんだろう? 発達障害

~"不器用"の問題とその支援~

講師プロフィール



長崎大学牛命医科学域(保健学系)教授。

長崎大学子どもの心の医療・教育センターセンター長。博士(医学)。 認定作業療法士。自閉症スペクトラム支援士エキスパート。 特別支援教育十スーパーバイザー。

著書に「不器用・運動が苦手な子の理解と支援のガイドブック」 (金子書房、2024年) などがある。

さん 岩永 竜一郎



さん 宮地 泰士

名古屋市西部地域療育センター所長。

博士(医学)。小児科医。

幼児期の療育を中心に、発達障害(神経発達症)の診察や研究などに 携わっている。

著書に「発達が気になる幼児が療育センターを受診するとき」 (金子書房、2025年) などがある。

申认方法

下記のどちらかの方法で令和7年11月4日(火)から令和8年1月6日(火)までにお申し込み ください。

①電子申請

右のQRコード(名古屋市電子申請サービス)から

1名ずつお申込みください。

※当所のホームページにも案内を掲載しています。

りんくす名古屋 研修案内

例

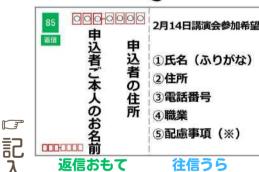
L3





②往復はがき

- ◎往信うら面に①氏名(ふりがな)、②住所、 ③電話番号、4職業、5配慮事項(※)を ご記入の上、お申込みください。
- ○令和8年1月6日(火)当日消印有効です。
- ◎往復はがき1通につき、1名ずつお申込み ください。
- ◎郵便料金をご確認ください。 はがきの額面は85円です。
- ○返信先の郵便番号も必ずご記入ください。
- ※車いす席等、配慮が必要な方は、その旨を 往信うら面の⑤配慮事項にお書きください。





名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋 〒466-0858 名古屋市昭和区折戸町4-16 ※悪天候等により中止又は内容を変更する場合があります。ご了承ください。

TEL: 052-757-6140 (平日午前8時45分~午後5時15分)

問合せ先